

2023年3月期

株主懇談会

2023年6月16日



大豊工業株式会社

新美 俊生 (にいみ としお)

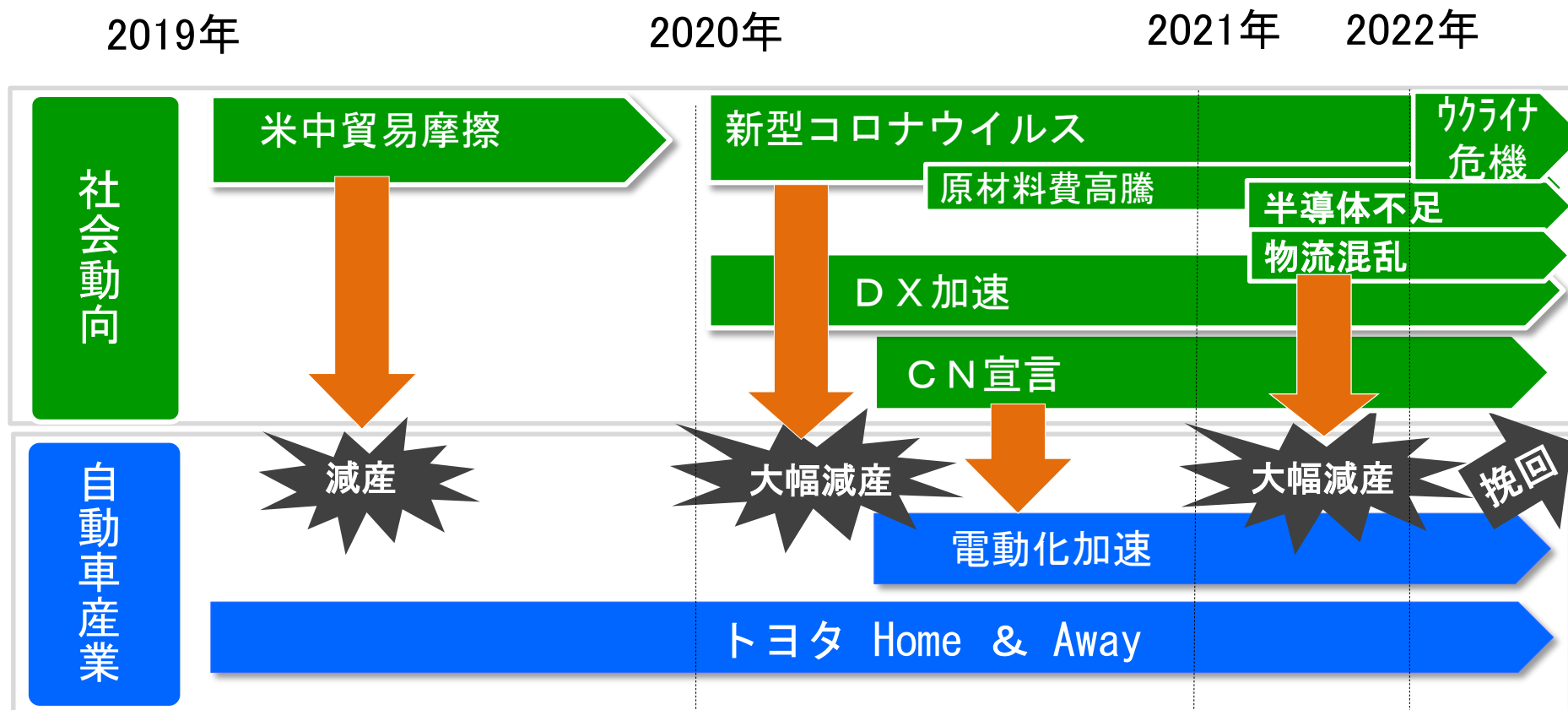
1962年1月12日生 (61歳)

略歴

- 1984年4月 トヨタ自動車株式会社入社
- 2009年1月 同社 内外装生技部長
- 2013年4月 同社 生技管理部長
- 2017年4月 同社 生技管理部領域長、広瀬工場長
- 2018年1月 同社 本社・広瀬・衣浦工場長
- 2021年3月 トヨタモーターノースアメリカ執行副社長
- 2023年1月 当社 執行役員就任
- 6月 当社 取締役就任



経営環境の変化



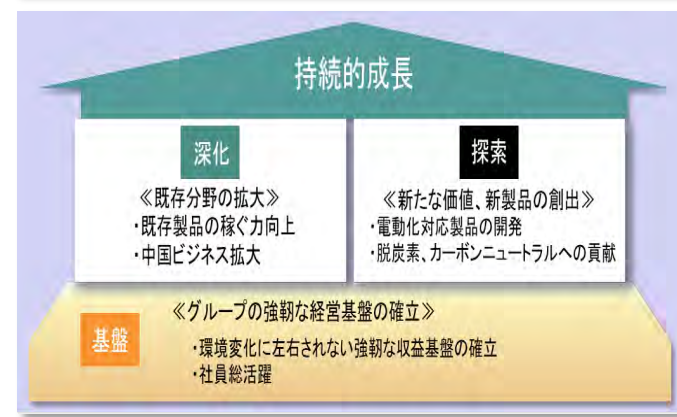
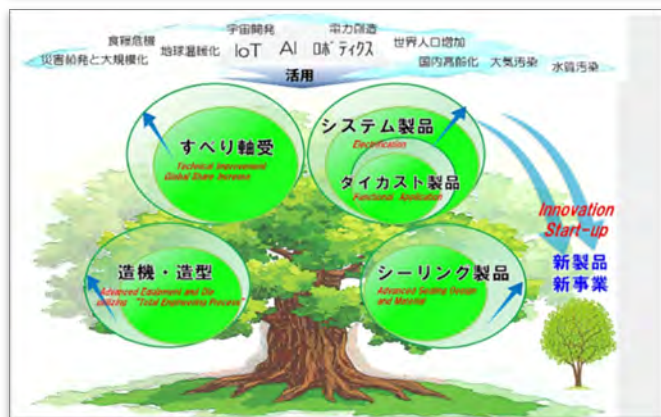
先の見通しが難しく、厳しい経営環境が継続している状況

VISION2025・中期経営計画

VISION2025



中期経営計画



こうした環境下において、【深化】【探索】両面での活動を推進

これまでの取り組み =深化=

	2021年度	2022年度
深化	強靱な収益基盤の確立、稼ぐ力向上	
	軸受ビジネス拡大	
		燃料噴射ポンプ用ブッシュ新規量産開始
		ビスマス合金軸受採用、技術開発賞受賞
	ダイカストビジネス拡大	
		HEV:インバータケース量産開始
		HEV:コンバータケース量産開始
		FCEV:プレッシャープレート/エンドプレート量産開始
トヨタ+α・中国ビジネス拡大		

樹脂合金軸受「CF100」



ビスマス合金軸受「BP200」

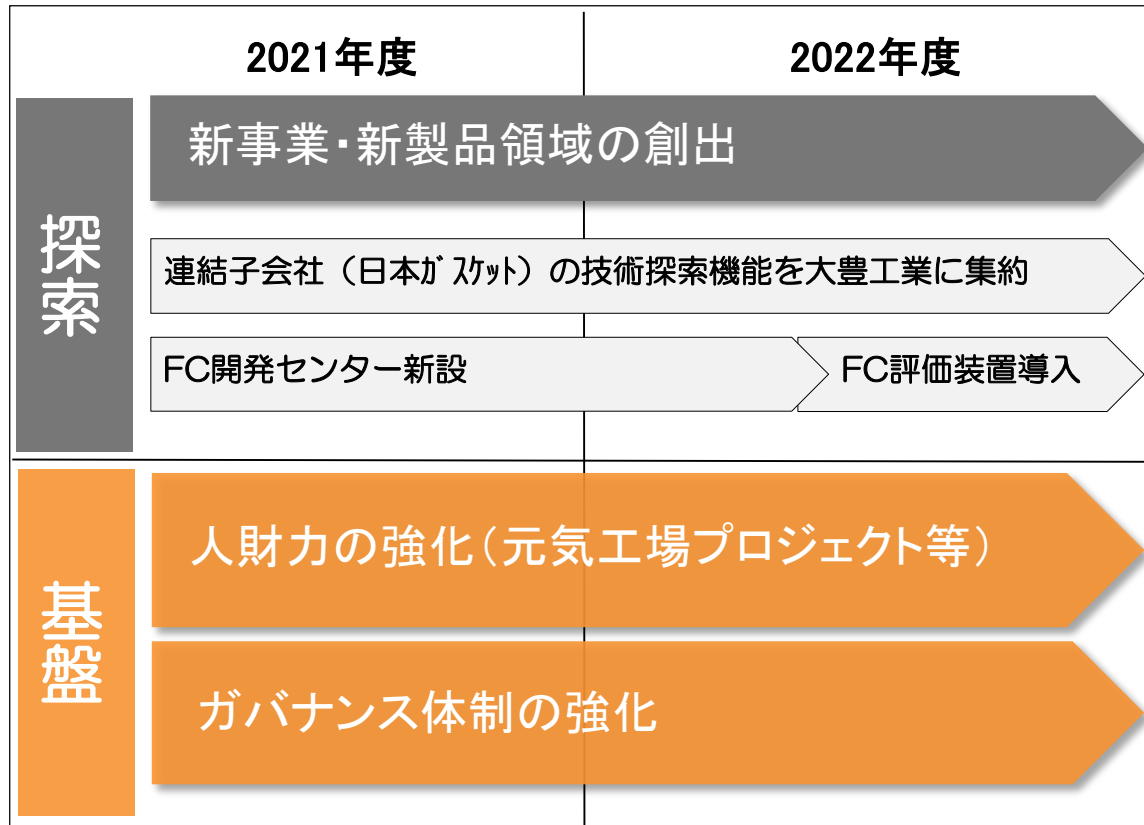


電動車向けダイカスト製品拡販



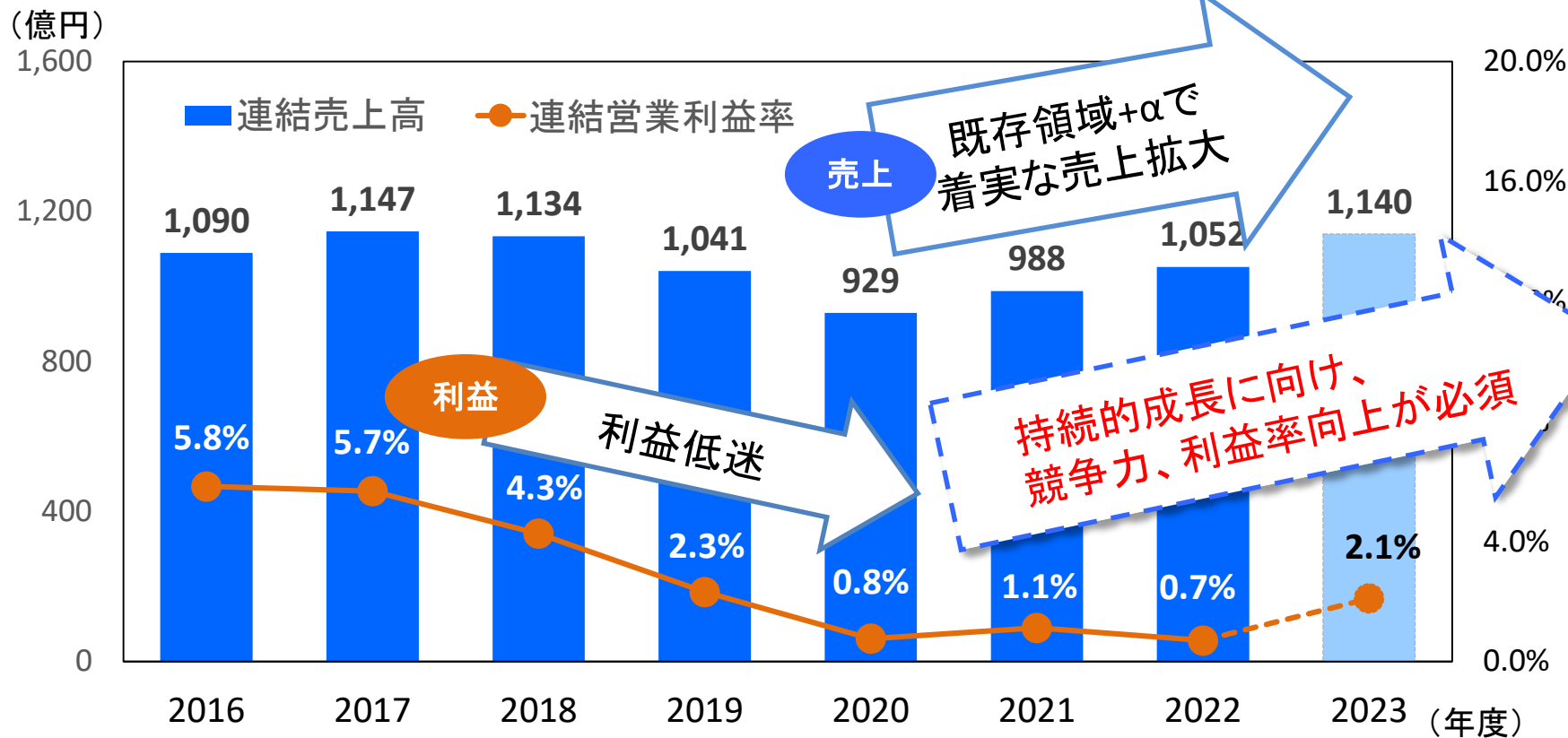
【深化】 基幹事業を中心に稼ぐ力向上、拡販活動を推進

これまでの取り組み =探索・基盤=



【探索】 技術開発のグループ連携強化、加速
【基盤】 人財力、ガバナンス体制強化

売上高・営業利益の推移(2016—2023年度)



売上高: コロナ禍からのV字回復

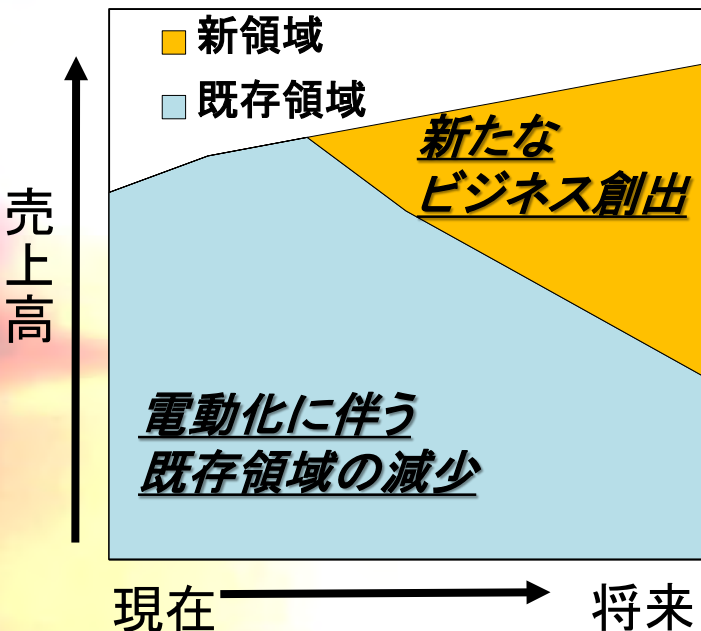
利益: 利益率を上げることが喫緊の課題



今後の取り組み

今後の取り組み = 取り組み方針 =

成長イメージ



(1) 持続的成長に向けて

つくり方と生産現場の風景を変えて
“限量で利益を生む”

(2) 企業価値最大化

夢ある新事業・新商品開発

体質強化
ビジネス創出

大豊グループの
固有シーズの結集

明日の大豊を
考える会

(1) 持続的成長に向けて =工場軸=

工場の風景を変える

部品集約



すみ分け/整流化



物流効率向上



デジタル化



(1) 持続的成長に向けて =事業軸=

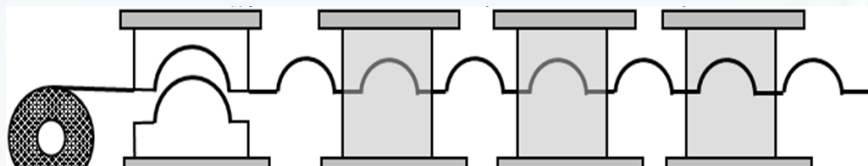
軸受

- ・中国市場への拡販
- ・量産部品と少量部品の
つくり方を変える



量産設備(連続生産)

プレス機 加工機(面取り、溝、穴)



1回/年 少量生産品(約2,200品番)
多段取り→数分生産=可動率低い

少量ライン

端板

ロール成形
(段取りレス)

単独機(簡易段取り)

実証ライン構築
全体可動率向上

ダイカスト

- ・基幹事業への成長



- ・トヨタ様からのご指導を
通じた**実力アップ**



- ・工場再編で
生産効率最大化、CN対応



- ・**商品開発力強化**
(HEV筐体部品
⇒BEV精密部品開発)



(2) 企業価値最大化 = 新事業 =

夢ある新事業・新商品開発

製造技術の活用・発展

めっき排水処理システム

環境に貢献

マイクロ風力発電

異業種への挑戦

事業を通じて世の中に貢献

溶射

めっき

シーリング

精密加工

シート焼結

鋳造

抄造

グループカ

協力会





独自技術と若い力で、
明るい未来を切り拓く





ご清聴ありがとうございました